

# アンテナ取扱説明書

このたびは、920MHz帯 RFID アンテナ UTR-UA1709-1 をお求めいただき、誠にありがとうございます。  
製品を正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に、本書をよくお読みください。

## ■ 法令上の注意

※本内容は、2019年6月現在の電波法(電波法施行規則)の内容に基づく注意内容を記載しています。  
法令の改正により内容が変わることがありますので、必ず最新の法令の内容を順守してください。

電波法の規定により、特定小電力無線局向けのリーダライタ(出力 250mW)には、アンテナ利得が+3.0(dBi)を超えるアンテナを接続することは禁止されています。

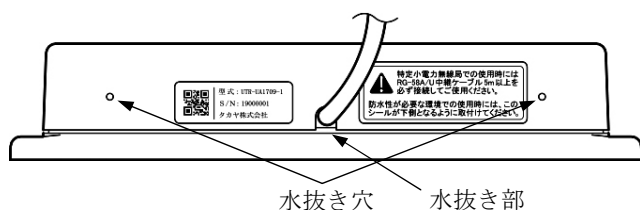
本アンテナ単体での利得は+5.5(dBi)であり、付属品の中継ケーブル 5m(型番: UTR-RG58-5M-SMA-SMA)を接続した際に、アンテナ利得が+3.0(dBi)以下となります。

特定小電力無線局向けのリーダライタ(出力 250mW)に本製品を接続する際は、  
付属品の RG-58A/U ケーブル 5m を必ず接続してご使用ください。

## ■ 設置上の注意

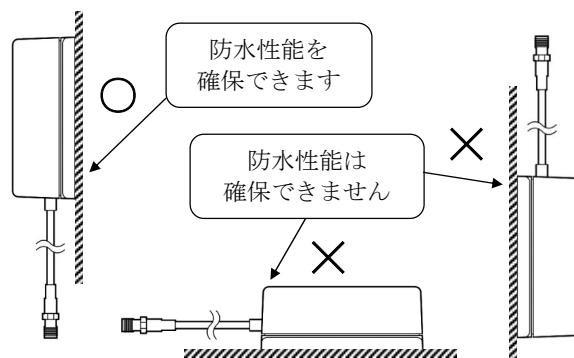
本アンテナは、本体ケーブルが鉛直下向きとなる取り付け方で設置した際に、防水性能(IP34相当)を有する設計となっています。

防水性能を必要とする環境で本アンテナを使用する際には、以下の通り防水対策をおこなってください。

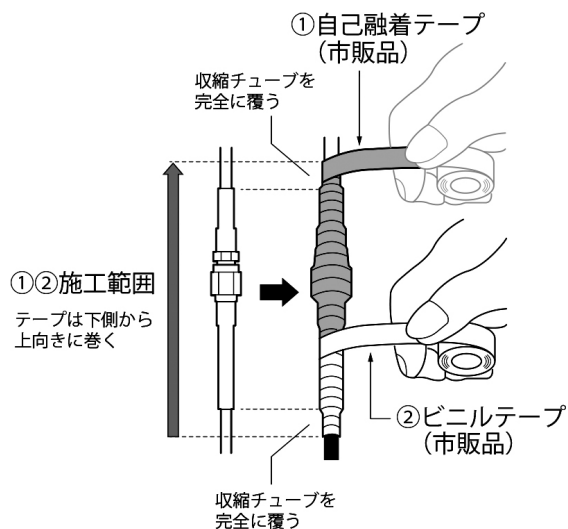


本アンテナは、本体下側2箇所水抜き穴、  
本体ケーブルと下ケースの隙間に水抜き部  
を設けた構造となっています。

本体ケーブルが鉛直下向きとなるように  
取り付けの際に、アンテナ内部に浸入した水が  
水抜き穴から抜ける構造となっています。



防水性(IP34)を必要とする場合、  
本体ケーブルが鉛直下向きとなる  
ように取り付けてください。



本体ケーブルと中継ケーブルを接続後、以下の手順で  
コネクタ接続部の防水処理をおこなってください。

- ① 自己融着テープ(市販品)を巻く
  - コネクタの接続部分および収縮チューブを完全に覆うように、自己融着テープを巻きます。
  - 隙間の無いように、自己融着テープ同士が半分程度重なるように巻き付けてください。
  - 自己融着テープの使用方法については、お使いになるテープの取扱説明書をご確認ください。
- ② ビニルテープ(市販品)を巻く
  - 耐候性を確保するため、ビニルテープを巻きます。
  - ビニルテープは、隙間から水が入らないように、下側から上向きに巻きます。